

動物用医薬品

シグマン

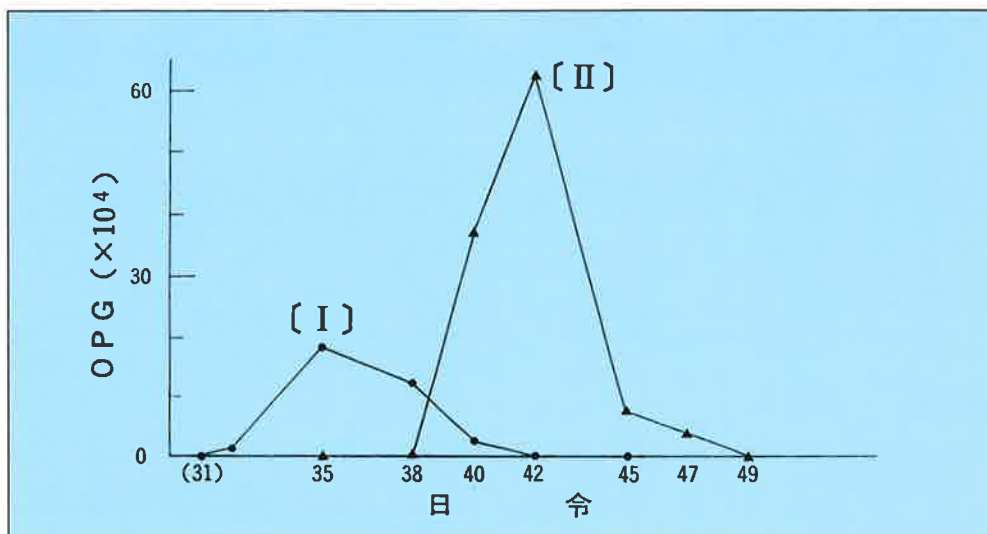
- | | | |
|---------------------|--|--------------------|
| *成分及び含量
(本剤1kg中) | グリカルピラミド 12g
ジニトルミド 25g | *効能・効果
鶏コクシジウム病 |
| *用法及び用量 | 飼料1t当たり本剤として3~5kgを均一に混ぜて
経口投与する。(0.3%~0.5%添加) | |
| *包装 | 10kg | 20kg |



株式会社 養日化学研究所

名古屋市守山区大字守山字町北140 TEL (052) 791-2084

1. 野外における鶏コクシジウム病防止効果



W. L. L/種鶏 (5,000羽) を32日令で2群に分離飼養

35日令で〔I〕群のOPGが 18×10^4 に上昇した為、

〔I〕群にシグマン(0.5%) 〔II〕群にAP剤を投薬。

〔I〕群のOPGは投薬後7日で終末すると共に投薬を中止したが、

逆に〔II〕群は投薬中にOPGが急増し、血便が認められたので、

45日令よりサルファ剤治療(3日間)に切り換えた。

2. E. tenella および E. acervulina との混合感染に対する効果

試験区	投薬量	増体	生存	盲腸病変					小腸病変				
				卍	卍	卍	卍	卍	卍	卍	卍	卍	卍
無感染・無投薬区	—	100	10/10	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
感染・無投薬区	—	62	4/10	7	2	1	0	0	3	0	5	1	1
スルファジメトキシン区 (10%)	1%	90	10/10	1	2	3	0	4	0	0	3	2	5
シグマン区	0.3%	97	10/10	0	1	4	0	5	0	0	3	3	4
	0.5%	97	10/10	0	2	4	0	4	0	0	2	4	4

W. L. ♂各10羽 E. tenella: 5×10^4 個/羽

E. acervulina: 3×10^4 個/羽

試験期間: 20日令 (人工感染) より28日令まで観察

投薬: 各濃度で感染2日後より4日間投与

剖検: 死亡発見時または28日令時

3. E. tenella, E. acervulina および E. necatrix

との混合感染に対する効果

試験区	投薬量	増体	生存率	盲腸病変	十二指腸 小腸上部病変	小腸中部 病変
無感染・無投薬区	—	100	100	—	—	—
感染・無投薬区	—	—	0	++	++	+++
スルファジメトキシン区 (10%)	0.1%	60	60	+	+	++
シグマン区	0.5%	95	100	+	±	±

W. L. ♂各5羽

試験期間：15日令(人工感染)より

23日令まで観察

投薬：各濃度で感染2日後より4日間投与

剖検：死亡発見時または23日令時

E. tenella : 1×10^4 個/羽

E. acervulina : 2×10^4 個/羽

E. necatrix : 6×10^3 個/羽


4. シグマンの安全性


- ① LD50 1400mg/kg (マウス ♂・♀)
- ② 通常使用濃度の約10倍量をラットに90日間連続投与したが、病理学的観察並びに血液学的検査における異常はなかった。
- ③ L/種鶏に対して飼料中にシグマン0.5%を90日間(150日令まで)連続投与しても毒性は全く認められなかった。

シグマン使用のチェックポイント

① OPGのチェックと併せてご使用いただく方法が経済的です。


② 急性コクシジウム病対策の目安は？

ブロイラー(種鶏) 29日令  5～7日間

採卵鶏(種鶏) 36日令  5～7日間

③ 大雛後期から産卵直前にかけて、*E. necatrix*による急斃死を伴うコクシジウム病が最近目立つようになってきました。

卵巣発達期(ホルモン分泌のアンバランス時期)での腸内クリーニングを目的としたご使用をお勧めします。

採卵鶏・種鶏 17週令 

④ 制限給餌がきつくなる時点、修正デビーク、ワクチン投与、特に移動作業等、各ストレス時期以降の注意深い観察と対策を決して怠らないようにして下さい。

⑤ 鮮血便が発見された場合には、サルファ剤(アマイドンパンチ等)での短期処置を併用する方がより有効です。

注意事項

- (1) 本剤は産卵鶏(食用に供するために出荷する卵を産卵している鶏をいう)には使用しないで下さい。
- (2) 本剤は週余にわたる連続投与をさけて下さい。
- (3) 本剤投与後7日間は食用に供する目的で出荷等を行なわないで下さい。